

道路の昔の姿について(長堀通)



今ある道路の昔の姿を調べてみると、実は意外な場所だったことがあります。

長堀通は、都心を東西に貫く市内有数の幹線道路ですが、昔はなんと、長堀川という大きな川でした！！

江戸時代、西横堀川(埋立济)との交差箇所である四つ橋より上流の長堀川沿岸には廻船問屋が、下流には材木問屋や各藩の屋敷が並び、大いに賑わったそうです。

ただ、戦後、市内の自動車の増加等により、長堀川を埋立て道路として活用するため、四つ橋以东は、昭和35年～37年に埋立し、以西は、昭和42年～46年に埋立を行っています。

(昔)



(位置図)



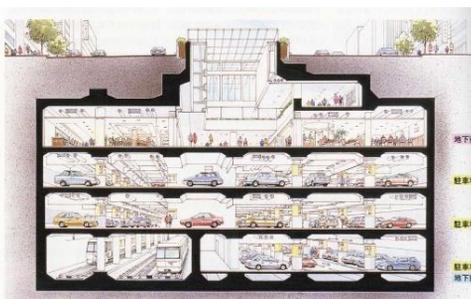
今では、地上は綺麗な道路に整備され、地下には地下街や公共地下歩道、地下駐車場が整備されるなど、有効活用されています。



現在の長堀通



長堀通の地下断面(四つ橋筋～堺筋)



公共地下歩道(四つ橋筋～堺筋)



地下駐車場(四つ橋筋～堺筋)

